

「先生、今度新しく出た薬を使うと、糖尿病が治ると聞いたのですが、本当ですか。」「低血糖を起こさないので安心して飲めるのですよね。」

最近、新しい糖尿病薬が発売され、患者さんから様々な質問を数多く受けます。新聞や健康情報誌などにも「画期的な糖尿病新薬登場」「糖尿病は治療する時代から治癒する時代へ」といった派手な見出しで紹介されております。飲んだだけ糖尿病が治ってしまう。「魔法のクスリ」がついに登場したのでしょうか。確かに今度発売された薬（DPP4阻害薬といいます）は単剤では低血糖を起こすことなく高血糖状態を是正、弱った膵臓の働きを回復する可能性があります。そういう意味では「画期的」な薬です。治療の道具がまたひとつ増えることにより、よりきめ

細やかなオーダーメイド治療に一步近づくことができ、私達も大変期待している薬です。しかしながら、実際使用してみると、他の糖尿病薬と併用した場合、重篤な低血糖をおこす事が報告され、慎重に投与するように、との警告が出されました。食事療法を怠たれば、効果がありません。膵臓の機能を回復するデータは、あくまでマウスを使った動物実験によるものです。インスリン注射が一生必要な1型糖尿病の患者さんには適応外です。

カロリーーなんか気にせず、みんなと同じ食事をしたたい、できれば薬も飲みたくないし、インスリン注射もしたくない、とほとんどの患者さんが思っています。私たち医療従事者もそうしたいをかえたいと努力しておりますが、残念ながら今の医学ではそれらに

すべて答えることは困難です。「魔法のクスリ」の出現にはもう少し時間がかかりそうです。

今から10年以上前の事ですが、ある「画期的な糖尿病の新薬」が発売され、私も含め多くの医療従事者が期待し、患者さんに使用されました。その効果も劇的で、これで多くの糖尿病患者を救うことができる、と誰もが思いました。しかしながらしばらくして重篤な薬の副作用が次々報告され、ついには発売中止となってしまうのです。デメリットを大きく超えるメリットがあつて初めて多くの人を救えるのです。「新薬」の投与に関してはどんなに慎重になつてもなりすぎるといふ事はないのです。

ところで前回のコラムが掲載された日の午後、あわててスーパーの野菜

売り場に駆け込みました。「血糖を下げるためには、たまねぎは計算上一日50キロ以上食べないと効果がないので、たまねぎを食べて血糖を下げるのは不可能」と書いたつもりが「50グラム」となっていたのです。後で単純な校正ミスでそうなったと判明したのですが、これを読んだ方が、たまねぎを買いに殺到したかもしれないと思っています。幸い杞憂でした。野菜売り場は普段と変わらず、たまねぎも売り切れることはありませんでした。

薬もそうですが、ある食べ物、飲み物、健康食品だけを食べるだけで、病気が治ったりする事はまずありえません。「魔法」はいつかは解けるものなのですから。

（いわき市内郷、たねだ内科クリニック院長）